

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●阪神ジュベナイルフィリーズはソウルスターリングが優勝

12月11日(日)の阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)ではソウルスターリング(牝2歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝しました。関東馬による同レース制覇は、一昨年のショウナンアデラ、昨年のメジャーエンブレムに続き、3年連続となります。

### ●M.デムーロ騎手がJRA通算600勝を達成

12月10日(土)の5回阪神3日・第3レースではタスクフォースが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、史上71人目、現役では29人目となるJRA通算600勝(3724戦目)を達成しました。

### ●藤岡康太騎手がJRA通算400勝を達成

12月10日(土)の4回中京3日・第6レースではフィエルテが1着となり、同馬に騎乗した藤岡康太騎手(栗東・フリー)は、現役37人目となるJRA通算400勝(5757戦目)を達成しました。

### ●アジアエクスプレス、ホッコータルマエらの競走馬登録抹消

2013年朝日杯フューチュリティS(G I)などの勝ち馬アジアエクスプレス(牡5歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算11戦4勝・地方1戦0勝)、2014年チャンピオンズカップ(G I)、2014~2016年川崎記念(Jpn I)など、日本競馬で初めてG I・Jpn Iで10勝をあげたホッコータルマエ(牡7歳/栗東・西浦勝一厩舎/JRA通算17戦6勝・地方19戦11勝・海外3戦0勝)、2014年産経賞オールカマー(G II)などの勝ち馬マイネルラクリマ(牡8歳/美浦・上原博之厩舎/JRA通算32戦6勝・海外1戦0勝)は、12月10日(土)までに競走馬登録を抹消されました。アジアエクスプレス、ホッコータルマエはともに北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬、マイネルラクリマは東京競馬場で乗馬となる予定です。

### ●有馬記念の枠順公開抽選をテレビで中継

今年の有馬記念(G I)は、都内ホテルに出走馬関係者が一堂に会して枠順(馬番号)を公開抽選で決定、またその模様がテレビで生中継されます。12月21日(水)の午後5時から6時30分まで、BSフジにて中継される予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●牝馬リエノテソーロが全日本2歳優駿(川崎)を楽勝

全日本2歳優駿(Jpn I、12月14日、川崎、1600m)は、1番人気のエーデルワイス賞の覇者リエノテソーロ(吉田隼人騎手、牝、父スパイツタウン)が3~4番手追走から直線半ばで抜け出し、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。3馬身差の2着に2番人気のシゲルコングが入り、メイソングジュニアは5着、ハングリーベンは7着、ネコワールドは14着に終わっています。

### ●アムールブリエが名古屋グランプリ連覇で引退の花道を飾る

名古屋グランプリ(Jpn II、12月15日、名古屋、2500m)は、2番手を進んだ2番人気のアムールブリエ(クリストフルメール騎手、牝5歳、父スマートストライク)が、逃げた単勝1.5倍で断然人気のケイティブレイブを4コーナーで捉えて3馬身突き放し、6度目のダートグレード競走制覇を達成。3番人気のモズライジンが4着、ストロングサウザーは5着、メイショウヒコボシは6着でした。

### ●フリビオンが高知デビュー馬の頂点に【各地の主要2歳重賞】

高知デビュー馬限定の新設重賞、黒潮ジュニアチャンピオンシップ(11月23日、高知、1400m)は、スタートが悪く、後方から徐々に追いつけたフリビオン(牡、父フリオーソ)がゴール寸前で内から差し切り、1番人気に応えました。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●香港国際競走~日本調教馬が今年も2勝の活躍

香港国際競走が12月11日に香港のシャティン競馬場で行われ、過去最多となる13頭が出走した日本調教馬が昨年に続いて2勝をあげる活躍を見せました。まず初めに栄冠を手にしたのはG1香港ヴァーズ(芝2400m)のサトノクラウン(牡4歳、父マルジュ)。道中は鞍上のJ.モレイラに導かれて、ラチ沿いの後方で我慢。直線で鋭く伸びると、ゴール前でG1ブリーダーズカップ・ターフの勝ち馬ハイランドリールを差し切り、G1初制覇を果たしました。2勝目はG1香港カップ(芝2000m)のモーリス(牡5歳、父スクリーンヒーロー)。R.ムーア騎手を背にした同馬は後方待機から直線で出色の末脚を披露。地元香港のシークレットウェポンに榮々と3馬身差をつけて、自身6つ目、香港だけでも3つ目となるG1制覇を果たしました。なお、サトノクラウンとモーリスはともに堀宣行調教師の管理馬。香港以外の調教師による香港国際競走の1日2勝は史上初めての快挙です。そのほかのレースではG1香港スプリント(芝1200m)は香港のエアロヴェロシティ(騾8歳、父ピンズ)が先行策から押し切って、このレース2年ぶり2回目の優勝。G1香港マイル(芝1600m)は同じく香港のビューティーオンリー(騾5歳、父ホーリーローマンエンペラー)が差し切って、国際G1初制覇を果たしています。